

「幸せは手の中に」

三郷工業
技術高校 現役社長が講演

三郷市の県立三郷工業技術

高校（山本康義校長、生徒数637人）で4日、現役社長の増田恭章さん（51）が、1年生約220人を対象に「おもしろい人生の描き方」につ

強調。「災害は避けることはできないが、日頃の備えで減災することは可能だ」と述べた。

「動物支援ナース」の活動を進める西村裕子さんは飼育主がペットと避難する「同行避難」について説明。避難所にペットが避難することへの理解に触れ、飼い主については「避難の仕方の選択肢を保持しておくことが大切」とした。

東京・銀座の文具店「嶋屋」の岡田奈津子さんは、被災後に必要な防災証明書や経済的支援の知識をまとめた「生活のソナエ袋」を紹介。「生活再建に向けて、自分が支援

いて講演した。

増田さんは県立越谷西高校を卒業後に就職し、26歳の時に1人で起業。現在は通信事業を中心に携帯電話ショップ24店舗を経営。従業員150人を抱え、東京都千代田区と越谷市にオフィスを構えている。

講演は「16歳の君が将来カッコイイ大人になるための3つのポイント」と題し、①個性を活かす②仕事の価値③目標と目的の3点を中心に、自身の経験を踏まえて話し



「つまらない仕事はない。自分がつまらなくしている」語る増田さん—三郷市彦成の県立三郷工業技術高校

8階講堂。第1部の演題は「予期せぬ災害と心の支援」。講師は上智大学グリーンケア研究所特任所長、「生と死を考える全国協議会会長の高木慶子さん。第2部はフラダンス「復興の祈り・願いを込めて」。出演は舞踊家の斎藤玲子さん。定員150人。参加費500円（復興支援資金および実費）。

問い合わせ、申し込みは福盛田さん（☎080・1242・7352）。

◆川口法人会・特別公開講演会「AIと脳の未来」（川口）13日午後6時半から、市民ホール・フレンジア。人工知能がもたらす未来の世

まちひとであい

た。個性を生かすことは「自分の強み、良い所に気付いて

◆第2回「粕壁宿歴史物語」講座「粕壁宿に泊まった人々」（春日部）16日午後2時〜同3時、中央公民館2階集會室。講師は市郷土資料館学芸員の榎本博さん。定員40人。参加費は無料。

問い合わせ・申し込みは市立中央図書館（☎0488・761・5911）。

あなたの街、団体、グループの催し情報、ポスター、はがきをお寄せください。あて先は、〒333-1868 さいたま市北区吉野町2の282の3 本社編集局（☎0488・6538040）「まちひとであい」係です。

ほしい。幸せとは手に入れるものではなく、手の中にあるものに気付くことと述べた。仕事の価値とは「人の役に立つこと。楽しい、ワクワクする。喜び、情熱を燃やすこと」と。一方、目的は「何のためにやっているのか。目標はいつまでに？ どのくらい？。自分で決めることが大事」と語った。（横江初太郎）